

三崎地区中学校適正配置実施計画（素案）に関する意見募集実施結果及び寄せられた意見等の内容

1 パブリックコメント（意見募集）

（1）実施期間

平成23年11月16日（水）～12月16日（金）

（2）寄せられた意見の件数

4件（1人）

2 保護者等説明会

（1）開催日時・会場、参加人数

日 時	会 場	参加人数
平成23年11月24日（木） 18:30～20:05	三崎中学校 2階会議室	21人
平成23年11月26日（土） 10:00～11:40	三浦市青少年会館 3階会合室	12人
平成23年11月28日（月） 18:30～19:57	上原中学校 2階多目的ホール	7人
計		40人

3 三崎中学校及び上原中学校教職員説明会

（1）開催日時・会場、参加人数

日 時	会 場	参加人数
平成23年11月14日（月） 16:00～17:13	三崎中学校 2階会議室	15人
平成23年11月15日（火） 16:00～17:02	上原中学校 1階会議室	19人
計		34人

4 三崎中学校及び上原中学校教職員からの意見聴取

（1）意見を提出した人数

10人

5 三浦市立小中学校適正化推進懇談会

（1）開催日時・会場、参加人数

日 時	会 場	出席人数
平成23年12月19日（月） 17:58～19:33	三浦市青少年会館 1階教育委員室	9人

6 意見等の概要と教育委員会の考え方

大分類	小分類	No.	会場等の区別	意見・質問の概要	教育委員会の考え方
実施計画の基本的な考え方	統合の理由	1	保護者等説明会 (上原中学校)	生徒数の適正化ということで統合は仕方ないと思うが、この話を進めるに当たって経済的なこと、三浦市の財政についても念頭にあったのか。	本実施計画（素案）の作成とは別に、他の部署での財政的な議論はありましたが、今回は子どもの教育環境を主眼に置いて計画の素案を作成しました。
	学校づくり	2	保護者等説明会 (上原中学校)	新しい学校はこんな学校になっていく、という夢が語られていない。夢を語らなければ、つじつま合わせに思われても仕方ないのではないのか。	部活動の活性化などは非常に切実な問題であり、保護者からの思いも強くあります。教科担任の確保も学力の維持・向上という観点に立っており、全く夢が語られていないとは考えていません。
		3	保護者等説明会 (上原中学校)	小学生の意見も聞いたということだが、子どもたちが気になるのは数字なことより交流行事などのことだと思う。実施計画案ではビジョンやこんな学校にしていくという具体的なものが示されているかと思っていた。	子どもたちからは、人間関係についての不安の声が多く聞かれました。また、この不安を解消するために事前の交流行事などが必要だという意見や、部活動や人間関係についての非常に前向きな意見も出されました。本実施計画（素案）では、統合に当たっての課題をどのようなメンバーでどのようなスケジュールで決定していくかを示しており、今後、具体的に検討を進めていきます。
	実施計画の位置付け	4	適正化推進懇談会	実施計画の位置付けというのは、どのあたりにあるのか。行政としてこういうふうに判断しました、というかたちでのまとめを計画として示したのか、まだ意見を求めるというタイプのものなのか。 教育委員会としてこうします、ということだけでいいのではないかと思う。丁寧過ぎる感じがいっぱいあって、推計結果などは決定の背景になることだが、それを踏まえて教育委員会としてはこうしました、ということで、もっとシンプルなものでもいいのではないのか。	行政計画とするためには教育委員会だけで決められない部分があるので、まず教育委員会という機関で決定します。その後、政策会議という市長部局の庁議で決定します。最終的には決裁行為をして行政計画として位置付けて、この計画に基づいて進めていきます、という位置付けになります。 I章からIII章に書かれていることは、要旨に書かれていることだけが決定事項で、要旨に書かれていること以外は説明材料だというご理解をいただきたいと思います。
適正化措置のスケジュール	統合時期	5	保護者等説明会 (三崎中学校)	平成26年4月に適正化措置を実施するというのは、地区協議会で出された意見だが、予算や法的な縛りがあってのことか。	平成26年4月に適正化措置（統合）を実施することについて、予算や法的な制約はありません。 平成25年度に三崎中学校において3学年合計で5学級となることが推計から明らかになりました。この場合、県の基準で定められた学校長、教頭、養護教諭を除く教員数は9人となり、9教科10科目の教科担任を確保できない可能性があります。 このことから、平成25年度に適正化措置を実施するという考え方もありますが、適正化措置実施のためには多くの課題があり、これらを検討・決定する時間を確保するためにも平成26年4月を実施時期としました。
適正化措置の手法	統合の考え方	6	教職員説明会 (三崎中学校)	統合というのは、片方の学校が吸収されるということではなく、全く別の新しい学校を作るということか。 横須賀では鴨居と上の台が統合したが、元に戻るということで校則なども鴨居中のものをそのまま使っていると思う。そのようなかたちではないのか。	「統合に当たっては、どちらかの学校がもう一方の学校を吸収するのではなく、2校を統合し新中学校を創設することとします。」という考えを実施計画（素案）6ページに記載しています。 統合と吸収の定義は難しいものがありますが、校則で言えば新しい校則を作ろうという趣旨が実施計画の中にも含まれています。校名については地区協議会の中でも色々な案が出ていましたが、公募するため、三崎中学校や上原中学校という校名になることも否定はできません。仮に三崎中学校や上原中学校という校名になることによって、吸収だと言われることもあるかもしれませんが、実際の学校運営に関しては、新しい学校を創るということでゼロベースで見直していくという思想が実施計画にあります。
		7	教職員説明会 (上原中学校)	「新しい中学校を創設する」という部分について、新しい中学校とはいっても基本になるのは2つの中学校で、その中でどう考えていくのかというのが基本的スタンスではないか。	吸収合併の場合、例えば、吸収する側の校則をそのまま使うこともありますが、今回の場合はそうではなく、両校の良い面を残しながら新しい学校を創っていくことを考えています。
	統合を選択した根拠	8	保護者等説明会 (上原中学校)	子どもたちを守るということが主眼にあると思うが、統合という選択をせざるを得ないとすれば、何がこれまで守られてきたのか。 上原中学校の通学区域の一部を三崎中学校に変更すれば、教科担任の確保をすることができるのではないのか。	上原中学校の通学区域の一部を三崎中学校に変更することによって、一程度の生徒数を確保し両校を存続させる手法についても検討しましたが、今後も生徒数が減少する見込みであることから、将来的には2校が小規模化してしまい根本的な解決にはならないと判断し、最終的には統合という選択をしました。

大分類	小分類	No.	会場等の区別	意見・質問の概要	教育委員会の考え方
適正化措置の手法	統合の妥当性	9	パブリックコメント	・教育環境として、極力大勢の友と学習した方が、①切磋琢磨出来、②大人に成ってから懐かしさが違うし、③集団生活・活動が大人になって生きる、④友達・先生等いろいろな人との触れ合い、⑤多い方が何か悩み等友達と相談出来る機会が多い 等有り。 将来の事を考えても、三崎中学校と上原中学校の合併は賛成です。	ご意見のとおりだと考えています。 小規模校にも「少人数によるきめ細かな指導ができる」、「学校行事などで1人ひとりの活躍の場がふえる」などの長所はありますが、それ以上に短所があると考えています。 両校を統合することにより、より多くの人間関係の中で、学習面や部活動などお互いを高め合うことができることや、学級数により教員数の基準が定められていることから、教科指導の専門性の確保を図ることができるなど、子どもたちのために適切な環境を提供することができるかと考えています。
使用施設	施設改修	10	適正化推進懇談会	体育館改修の話は、1月の実施計画策定のタイミングで1つのプランに絞れるのか。具体的なプランを出さなくても「体育館を改修する方針です」ということだけ示せばいいのではないかと。	皆さまから多くのご意見をいただくために、AプランとBプランを併記しました。実施計画策定の段階でどちらかのプランに絞ることは困難です。
		11	適正化推進懇談会	実施計画の要旨のところ体育館の改修について基本的な方針は書き込むべきだと思う。体育館の改修を検討していくという話をきちんと書き込まないとⅢ章との整合が取れない。	ご意見を踏まえ、「実施計画の要旨」の「3 使用施設」に施設改修についての記述を追加します。
		12	適正化推進懇談会	体育館の建替えをどのようにしたらという話の中で、細かい部分では技術室が4階なのはどうか、ということも出たが、そういうものの基になるのは、どういう学校にしていくなのか、地域のコミュニティセンター的な要素を入れていくのならこういう複合施設にしようということもあるだろうし、大本が見えない中で細かい意見は言いにくいということが職員の中では出ていた。	どのような学校にしていくなのか、施設改修の細部はどのようにしていくなのかについては、今後も当該校の教職員とも協議し、調整を図ります。
		13	教職員説明会 (三崎中学校)	実施計画案に載せる段階で、Aプラン、Bプランについては、全く同等の比重でお考えください、というかたちで出されるのか。これから先生に図を見てもらって、より使い勝手の良い案を考えてもらおうと思うが、Aプラン、Bプランを同等に扱って両方について考えてもらうのか。	予算の範囲内で行えるものということが大前提になりますので、現時点での比較、評価はできないと考え、両方のプランを掲載することとしました。 事務局としては、機能面、財政負担等を考慮した場合、Bプランのほうが有利であると考えています。
		14	保護者等説明会 (青少年会館)	上原中学校の体育館の建築について、統合時には完成しているのか、統合してから工事が始まるのか。	予算の確保が建設の条件となりますが、学校では集中的に工事できる期間が限られていることを考慮し、平成26年の夏休みに完成することを目指します。
		15	保護者等説明会 (上原中学校)	体育館の建設工事はいつから始まるのか。在校生への影響が心配である。工事期間中はどうしてもマイナス面があるのではないかと。	全く学校生活に影響がないということにはできませんが、影響を少なくするように努力していきます。技術室や美術室が入っている特別教室棟の機能を他の校舎に移してから解体し、複合施設を建設することを計画しています。既存体育館については、複合施設の建設後に解体することを考えています。このことにより体育館を使用できない期間が発生しないようにし、学校運営に支障がないスケジュールを検討します。
		16	教職員説明会 (上原中学校)	施設改修のスケジュールについて、現時点で分かる範囲で教えてもらいたい。統合時に新しい体育館はできているのか。	予算の確保が施設改修の条件となり、スケジュールの確定はできませんが、現時点では、24年度に複合施設的设计、早ければ24年度中に着工し、26年の夏休みを最終工期とすることを考えています。
		17	適正化推進懇談会	施設改修については大変重要なことだと思うが、どのようなスケジュールを考えているのか。	予算の確保ができることが条件ですが、平成24年に設計を行い、同年度中に着手、平成26年の夏休みに新しい体育館を完成させるスケジュールを考えています。
		18	適正化推進懇談会	施設改修を平成26年4月までに終わることができないとすると、統合して数ヶ月間は校名や制服などは別として、校舎など統合の象徴のような目に見えるものがない。統合の式典を新体育館で行うことが望ましいのではないかと。	現時点では平成26年の夏休みに完成するスケジュールを考えていますが、統合の式典を新体育館で行うことの重要性は認識していますので、実施計画策定後もスケジュールの短縮について検討します。

大分類	小分類	No.	会場等の区別	意見・質問の概要	教育委員会の考え方
使用施設	施設改修	19	適正化推進懇談会	統合の式典を新しい体育館で行うためには、相当綿密な計画が必要になる。24年度当初に設計の発注をして、工事の発注は24年度の1月か2月にし、新築と解体の工事を1本で発注しないとそれぞれの工事のタイムラグが生じて工期の短縮はできない。	現時点では平成26年の夏休みに完成するスケジュールを考えていますが、統合の式典を新体育館で行うことの重要性は認識していますので、実施計画策定後もスケジュールの短縮について検討します。
		20	適正化推進懇談会	Aプランだと機能移設、解体、その後に建築ということで統合には間に合わない。Bプランのほうは、空いているところを使うということで基礎工事を含めて並行したかたちでできるので可能だと思う。	Aプランの場合、先に武道場を解体しますが、特別教室棟は解体しないため、機能の移設はありません。 Aプランで第2体育館を造った場合、既存の体育館や古い特別教室棟、新たに造る第2体育館の3棟を管理することになります。 一方で、Bプランでは1棟だけを管理することになります、財政面ではBプランが有利だと考えています。
		21	適正化推進懇談会	Bプランで改修を行う場合、特別教室の引っ越しなどは、授業を進める中でやっていかなければいけないため、具体的に授業を進めながらのスケジュールを現場では考えていきたい。 工事中も既存の体育館は使用するため、その間の安全面の確保なども含めて工事期間中の指導計画を細かく作っていく必要があると思う。 使える教室によっても、教科ごとのカリキュラムにも、どの時期にどの場所が使えるのかということがかわってくると思うので、早く施設改修のスケジュールが出ることは教育活動の中では必要なことだと思う。	授業等に支障を生じないこと、子どもたちが安全に、併せて安心して学校生活を送ることができるように学校との調整を緊密に対応します。
		22	保護者等説明会 (上原中学校)	新しい大きくてきれいな施設ができるのは魅力的だが、財政的にはどうなのか。	既存の体育館や特別教室棟の機能を再編して、新たな複合施設を建設するためには予算の確保が条件となります。Bプランは、既存の体育館や特別教室棟を残して第2体育館を建設するAプランに比べて初期投資は必要ですが、将来的なことを考えると管理する棟数が少ないBプランのほうが有利であると考えています。 平成26年の夏休み完成を目指していますので、今後、当該校の教職員をはじめ、皆さんから機能面でのご意見をいただければ可能な限り反映していきたいと考えています。
		23	教職員説明会 (上原中学校)	現在は、校舎の2階多目的ホールから正門が見渡せて、生徒の登下校の様子を見ることができが、Bプランの場合、視界が遮られてしまう。また、生徒用昇降口が暗くなってしまうと思う。昇降口の前に複合施設があると、避難もしにくいと思われる。複合施設の位置をどちらかにずらすことができればいいのか。	新しい体育館をグラウンドに建設する案もありましたが、校舎への日照の問題があり、現在の駐車場に複合施設を建設する計画をBプランとしました。 実施計画の素案の段階では、校舎から正門方向への視界が遮られる配置でしたが、多くのご意見を参考に、配置を90度回転させ視界を確保できるように変更しました。
		24	教職員説明会 (上原中学校)	校舎の多目的ホールから生徒が登校してくる状況を見ることができるのはメリット。複合施設を15mくらい西側に移動させて、給食車の進入には校地西側の斜面を利用することは無理なのか。そうすることによって、昇降口が少しは開けるようになるのではないのか。	多くのご意見を参考にし、実施計画の素案の段階から配置を90度回転させ、校舎から正門への視界を確保できる配置に変更しました。
		25	教職員説明会 (上原中学校)	プール側のグラウンドに複合施設を造ったとしても、太陽光は上からさしてくるので3階の教室にはそれほど影響がないのではないのか。 Bプランの複合施設を90度回転させて造ることはできないか。視界が良くなり生徒の登校の様子を把握することができる。現在の案だとほぼ遮断してしまうようなかたちになってしまっている。	多くのご意見を参考にし、実施計画の素案の段階から配置を90度回転させ、校舎から正門への視界を確保できる配置に変更しました。
		26	教職員意見聴取 (三崎中学校)	校門から生徒昇降口までは、まっすぐいける動線が望ましい。それに伴って職員室の配置も昇降口付近に変更できないか。	Bプランで示した体育館の配置を90度回転させ、正門から校舎への動線を直線的なものに変更しました。 職員室の配置については、現行どおりとする予定です。
		27	教職員意見聴取 (三崎中学校)	体育館の建設位置を、グラウンド西側とし、旧体育館跡地はテニスコートとすることはできないか。	グラウンド西側に体育館を建設する案も検討しましたが、日照等の問題から現在の駐車場に建設する案をBプランとして示しました。 既存の体育館を解体した跡には駐車場を整備する計画です。

大分類	小分類	No.	会場等の区別	意見・質問の概要	教育委員会の考え方
使用施設	施設改修	28	教職員意見聴取 (三崎中学校)	グラウンド西側のテニスコートを、体育館跡地の一部に移せないか。	駐車場とテニスコートが隣接することは安全上問題があると考えます。また、駐車台数の確保も必要なことから、既存の体育館を解体した跡には駐車場のみを整備する計画とします。
		29	教職員意見聴取 (三崎中学校)	体育館1階の図書室を、特別教室棟1階の第1・2理科室、理科準備室と、位置を交換できないか。	図書室の位置を変更することは考えていません。特別教室棟の配置については、現時点での計画を示していますが、今後さらに検討を進め、詳細設計の際に反映させていきます。
		30	教職員意見聴取 (上原中学校)	図書館を狭くして、柔道場を広くしてほしい。	2校を統合することによる図書増加や今後の市民開放の可能性も考慮し、これまでより広い図書室としました。柔道場については、これ以上広くすることは現時点では考えていません。
		31	教職員意見聴取 (上原中学校)	カウンセリング室は、体育館の廊下が人の出入りが多いので、校舎内でのよいと思われる。	現時点ではカウンセリング室の配置は変更しませんが、今後さらに意見を聴いた上で詳細設計する段階で判断します。
		32	教職員意見聴取 (上原中学校)	生徒昇降口の正面に体育館があり、避難口としての使用が不安。体育館の位置を変えられないか。	Bプランの体育館の配置を90度回転させ、生徒昇降口の一部からの見通しを確保する計画としました。
		33	保護者等説明会 (三崎中学校)	体育館の改修の試算に当たっては、50年というライフサイクルコストの計算をしているということだが、生徒数の推計も踏まえてどのような建物が必要かを考えるべきでないか。	現時点で必要だと思われる施設の建設を考えました。鉄筋コンクリート造の建物の耐用年数を考慮し、50年という期間で現在試算をしています。長期にわたる生徒数推計は、出生率や社会増減の扱い方も様々あるため困難であり、50年後にその建物が本当に必要かは現時点では判断できないと考えています。
		34	保護者等説明会 (三崎中学校)	バレーボール部、バスケットボール部、卓球部が体育館を使うことになると思うが、狭い思いをしないような体育館にしてほしい。柔道場は体育で使用するためだけに造るのか。	体育館等の整備については、予算の確保が条件となりますが、現在Aプラン、Bプランを検討しています。Bプランの場合、現在の体育館より広くなります。柔道場については、武道が必修化されたことから、体育の授業で使用しますが、体育館やグラウンドと同様に地域への開放も考えていきます。
		35	教職員説明会 (三崎中学校)	Bプランの体育館というのは、今の上中の体育館より広くなるのか。	初声中学校の体育館のフロアと同じくらいの広さを考えています。バレーボールコート2面をとって試合ができるくらいの広さです。これ以上広くすることは、生徒や給食車の動線の確保等から考えると困難です。
		36	教職員説明会 (上原中学校)	体育館の改修について、Aプラン、Bプランどちらも既存の体育館を使用しながら改修を進めるということか。	Aプランの場合、先に武道場を解体するため武道場が使用できない期間があります。第2体育館の完成によって武道場も使用できるようになります。Bプランは、まず、残す特別教室棟の改修を行い、解体する特別教室棟の機能を移します。図書室は一時的に空き教室等を使っていただくことを考えています。現在の駐車場と解体した特別教室棟の敷地を使って複合施設を建設する計画です。その際には既存の体育館は残っているので使用が可能です。複合施設が完成後、既存の体育館を解体し、駐車場として整備する計画としています。
		37	教職員説明会 (上原中学校)	体育館を使用できない期間ができてしまうが、Aプランで示している既存体育館と第2体育館のスペースにBプランの複合施設を建てることは可能だと思う。 グラウンド西側のテニスコート部分に体育館を建てることについて、段差もあるし、校舎の1階は職員室なので教室には影響がないと思うが、高さを考えた場合に本当に不可能なのか。東側のテニスコートに体育館が建てられないか。 Bプランは校舎や職員室から子どもが入ってくるところが見えないし、避難の経路が確保できるのかということを考えてと場所的に無理があるのではないか。	先に既存の体育館を解体すればその場所に複合施設を建てることは可能ですが、体育館を使用できない期間ができてしまうため、この選択はしませんでした。 東側のテニスコート部分に建てることも検討しましたが、崖地もあるため十分な敷地を確保することができません。面積的には現在の駐車場に建てるのが、現時点ではベストプランだと考えています。

大分類	小分類	No.	会場等の区別	意見・質問の概要	教育委員会の考え方
使用施設	施設改修	38	教職員説明会 (上原中学校)	バスケットボール、バレーボール、卓球の部活で体育館を使うことになると思うが、更衣や荷物置き場、卓球台を置くスペースが不足していると思う。現在、合唱台もあるのでこれをどこに収納するか。 フロア上部がギャラリーになっているのであれば、ぐるっと回れるようにしてもらいたい。もし、ギャラリーでないのならばギャラリーを設置してもらいたい。 ステージ下は奈落構造になっているのか。ステージ下を通過して反対側のステージに行くことは可能か。	現時点では、体育館のステージ下を人が通ることは考えていませんが、ある程度の高さであれば造ることは可能だと考えています。詳細設計をする際にこの意見を反映できるか検討します。
		39	教職員意見聴取 (三崎中学校)	体育館フロアの面積をもう少し広くしてほしい。縦横+2mできないか。 他校との練習試合にも呼ぶことがしやすくなる。	現在の駐車場に建設する場合には、これ以上広くすることは困難です。これまでの体育館より広くなり、フロア面積は初声中学校の体育館と同等のものを計画しています。
		40	教職員意見聴取 (三崎中学校)	体育館の階段は1か所でもよい。ステージ側の階段はいらない。ステージの袖として使用するほうがよい。	消防法で定められた2方向の避難経路の確保のため、階段は2か所必要となります。
		41	教職員意見聴取 (上原中学校)	体育館開放の際の入口はどこになるのか。外階段がない。	1階にある入口を利用し、2階の体育館フロアに移動する動線を考えています。
		42	教職員意見聴取 (上原中学校)	体育館の階段は1か所でもよい。階段をロビーに上がるように設置すれば、体育倉庫を広くとれる。 ステージ側の階段はいらない、舞台袖とする。	消防法で定められた2方向の避難経路の確保のため、階段は2か所必要となります。
		43	教職員意見聴取 (上原中学校)	体育館フロアの面積をもう少し広くしてほしい。 バレー、バスケで2面とった場合の周辺スペースをできるだけとりたい。コートとコート外の寸法を明記してほしい。	現在の駐車場に建設する場合には、これ以上広くすることは困難です。これまでの体育館より広くなり、フロア面積は初声中学校の体育館と同等のものを計画しています。
		44	教職員説明会 (三崎中学校)	2階に被服室と調理室があって、4階に技術室と美術室があるが、重いものをよく扱う技術と美術が4階で、使用頻度が低いと思われる調理室が2階なのはなぜか。	解体する計画の特別教室棟の機能をどう移していくかを検討した結果、4階に技術室と美術室を配置することとしていました。 しかし、三崎中学校と上原中学校の教員からの意見を踏まえ、現時点では技術室を特別教室棟の1階に配置するよう変更しました。今後も両校の教員をはじめとする多くの意見を参考にしながら、最終的な決定をしていく予定です。
		45	教職員説明会 (三崎中学校)	もし、Bプランを進めるとすれば、特別教室棟の配置について出された意見を反映していく可能性はあるのか。	施設改修については、現時点で確定したものではありません。 今のスケジュールでは24年度に設計する予定のため、設計が終わるまでは意見を反映させることができると考えています。
		46	教職員説明会 (上原中学校)	技術室の重い機材を動かすことは非常に大変である。南中の改修の時にも平行移動するだけでも大変で、職員がそれをするようになった。今回の案では技術室が4階にあるが、エレベーターもない中でどうやって移動するのか不安である。よく検討してから進めるべきである。	三崎中学校と上原中学校の教員からの意見を踏まえ、現時点では技術室を特別教室棟の1階に配置するよう変更しました。今後も両校の教員をはじめとする多くの意見を参考にしながら、最終的な決定をしていく予定です。
		47	教職員意見聴取 (三崎中学校)	特別教室の配置について、新体育館1階に技術室、特別教室棟2階に美術室、調理室、4階に、図書室、調理室としたらどうか。 技術室を4階におくことは、資材の搬入、騒音の問題からさげたい。また、4階の美術・技術準備室は狭すぎる。	特別教室棟4階に技術室を配置することは困難との多くの意見を踏まえ、特別教室棟1階に技術室を配置する計画としました。 特別教室棟の機能再編については、今後も意見を聴きながら詳細設計に反映させます。
48	教職員意見聴取 (上原中学校)	4階の技術室に工作機械を運び込めるのか。また、美術・技術準備室は狭すぎる。	特別教室棟4階に技術室を配置することは困難との多くの意見を踏まえ、特別教室棟1階に技術室を配置する計画としました。 特別教室棟の機能再編については、今後も意見を聴きながら詳細設計に反映させます。		

大分類	小分類	No.	会場等の区別	意見・質問の概要	教育委員会の考え方
使用施設	施設改修	49	教職員意見聴取 (三崎中学校)	統合して、1学年4・5クラスになると、少人数授業のための教室が不足するので、体育館1階の、ミーティングルーム、トイレを、少人数教室にできないか。	ミーティングルームを少人数授業用を使用することは可能だと考えています。トイレは現在の計画通りとします。
		50	教職員説明会 (三崎中学校)	Bプランの体育館の1階に玄関があるが、来校者は駐車場に車をとめて、この玄関から入るといふ想定か。 本校舎へは、通路に屋根か何かがあつて行くということか。	Bプランの体育館の配置を90度回転させ、これまでと同様に校舎の玄関を来校者用とします。
		51	教職員意見聴取 (三崎中学校)	体育館の玄関は、オートロックだとしても、付近に誰もいないのは不安。 防犯上の観点からも、玄関の位置は危ないと思われる。迂回してでも、体育館の正面玄関は現校舎側がよい。	Bプランの体育館の配置を90度回転させ、これまでと同様に校舎の玄関を来校者用とします。
		52	教職員意見聴取 (上原中学校)	体育館正面玄関の不審者対応は大丈夫か。	Bプランの体育館の配置を90度回転させ、これまでと同様に校舎の玄関を来校者用とします。
		53	教職員意見聴取 (三崎中学校)	体育館のステージ下に、椅子の格納庫の設置をしてほしい。	詳細設計の際に意見を反映させます。
		54	教職員意見聴取 (上原中学校)	体育館のステージ下に、椅子の格納庫の設置をしてほしい。	詳細設計の際に意見を反映させます。
		55	教職員意見聴取 (上原中学校)	2階ロビーに水道があると便利。体育館履に替える下駄箱を設置してほしい。	今後、詳細設計をしていく際の参考とします。
		56	教職員意見聴取 (上原中学校)	体育館3階の屋上部分はギャラリーにできないか。	今後、詳細設計をしていく際の参考とします。
		57	教職員意見聴取 (上原中学校)	体育館フロアのコンセントは6か所、ステージに2か所以上必要。ギャラリーにも照明用に必要。	今後、詳細設計をしていく際の参考とします。
		58	教職員意見聴取 (上原中学校)	2階の多目的ホールの使い道は、体育館への通路を区切り、部屋にできないか。	Bプランの体育館の配置を変更したため、多目的ホール部分に渡り廊下を接続することはしません。
		59	保護者等説明会 (三崎中学校)	3月11日の震災を機に避難所のあり方が問題になっている。上原中も避難所に指定されると思うが、トイレは洋式にする予定か。特に障害者には和式は使いにくい。男女比も考慮してほしい。	常設のトイレについては今後設計していきますが、避難所設置の場合のトイレについては、簡易トイレで対応することも必要であると考えています。
		60	教職員説明会 (三崎中学校)	体育館はAプラン、Bプランとあるが、トイレは設置しないのか。	Aプラン、Bプランどちらの場合でもトイレは設置する予定です。Aプランの場合、既存の体育館にトイレを設置することはできませんが、第2体育館に設置することを計画しています。
		61	教職員説明会 (三崎中学校)	体育館の1階にトイレがあるが、行事等で使用することを考えるとフロアのある2階にもトイレがあったほうが生徒の指導上も使いやすいというメリットがあると思うが、2階にはトイレを設置しないのか。ぜひ、設置してほしい。	今の駐車場に建設することを考えるとこれ以上大きくすることはできないため、今のスペースでは、2階にトイレを設置することはかなり難しいと考えています。 既存校舎2階のトイレを利用できるように体育館後方から校舎への渡り廊下を設置する計画に修正しました。
62	教職員意見聴取 (三崎中学校)	体育館の2階にトイレを設置してほしい。 2階のトイレはステージの反対側に設置してほしい。 また、体育館ロビーには、生徒用下駄箱（体育館履きに替える）を設置してほしい。	体育館の2階にトイレを設置する予定はありませんが、既存校舎2階のトイレを利用できるように体育館後方から校舎への渡り廊下を設置する計画としています。 体育館ロビーへの生徒用下駄箱の設置は、詳細設計の際の参考とします。		

大分類	小分類	No.	会場等の区別	意見・質問の概要	教育委員会の考え方
使用施設	施設改修	63	教職員意見聴取 (三崎中学校)	4階の卓球場をなくしてもよいのか。	現在、上原中学校の特別教室棟4階の特別活動室を卓球場として使用していますが、これまでより広くなる体育館での活動を想定しています。
		64	教職員意見聴取 (上原中学校)	4階の卓球場はどこにいくのか。	現在、上原中学校の特別教室棟4階の特別活動室を卓球場として使用していますが、これまでより広くなる体育館での活動を想定しています。
		65	保護者等説明会 (上原中学校)	複合施設建設時に駐車場を使用できないということか。	複合施設(体育館)を建設する場合、工事期間中は現在の上原中学校の駐車場の大部分が使用できなくなります。周辺の施設に駐車場利用の協力を依頼できないか検討します。
		66	教職員意見聴取 (三崎中学校)	体育館跡地の駐車場と新体育館のグラウンドレベルを同じにできないか。段差をなくすことにより、何かと都合がよいと思われる。	今後、詳細設計をしていく際の参考とします。
	選択の妥当性	67	パブリックコメント	<ul style="list-style-type: none"> この先、三浦市の幼児等の大幅な増加は見込めそうに無いと思います。 人口も段々三崎港より油壺入口方面にシフトの傾向？。 等を考えると、上原中学校を統合後の中学校にするのは自然かと思えます。 中学校も再編の良い時期かと思えます。 	<p>現在、市内では大規模な開発の計画もないことから、大幅な人口増加は見込めない状況にあります。</p> <p>また、上原中学校より三崎中学校の生徒数が少ないことも確かですが、統合後にどちらの施設を使用するかを検討をする際には、校舎の建築後経過年数等を考慮し、生徒がより安全に、そして安心して学校生活が送れるかということに主眼を置き、上原中学校を使用するという選択をしました。</p>
統合に当たっての課題	スケジュール	68	教職員説明会 (三崎中学校)	統合後の学校像を検討するのが平成25年4月からとなっているが、学校によって考え方が違うので先に共通したイメージを持っていないと、教育課程などのすり合わせが難しくなってしまう。今のスケジュールでうまくいくのか心配である。	先に統合後の学校像を作るという考えもあると思います。今、示しているスケジュールをベースにして皆さんからの意見を参考に柔軟な進め方をしていきたいと考えています。
		69	教職員説明会 (上原中学校)	<p>教育課程など両校のすり合わせが出遅れているという認識である。学校が外部と契約する修学旅行などは、すでに今の1年生の契約もしている状態である。近々に両校で話し合いを進めていかなければいけない部分がたくさんあると思う。</p> <p>三中と上中の職員が話し合いを持つ場面は、まだ1回もない。これで間に合うのかと心配になる。早く調整すべきところは押さえていかなければいけないと思う。</p>	実施計画策定後のスケジュールを示していますが、ご意見を踏まえ、12月に両校での事前調整を開始しました。
	課題別検討組織	70	適正化推進懇談会	<p>課題の検討・決定機関の項目については適当だと思うが、これを総括するような部分はないのか。例えば校名を決めるにしても、校章のデザインを考えるにしても、新しい中学校を創る構想だとか理念だとか、そういったものがある程度固まっていなくて、そこから派生して象徴するものが校名だったり校章だったりするのだと思う。</p> <p>それを教育委員会で決めなくてもいいが、決める機関が必要だとすれば、そこでそういう部分が決まって、それを象徴するものを作っていくということが工程的には普通なのかと考える。</p>	<p>個別の課題を検討する前に、どのような学校を創るのかという検討が必要だということはお指摘のとおりだと考えます。</p> <p>理念を検討し、個別の課題の検討組織を総括するための組織の設置を検討します。</p>
		71	適正化推進懇談会	部会という表現がされているが、部会というのは通常、パーソナルな話なので、全体がないと部会にはならない。	個別の課題の検討組織を総括するための組織の設置を検討します。
72		適正化推進懇談会	このまま進めると、結構ばらばらなものが選ばれて、できあがったもの1つひとつを見るとそれなりにいいのだろうが、統合してみると、これは何を表現しているのかということになりかねない、というパターンなのかなと思う。	<p>個別の課題を検討する前に、どのような学校を創るのかという検討が必要だということはお指摘のとおりだと考えます。</p> <p>理念を検討し、個別の課題の検討組織を総括するための組織の設置を検討します。</p>	
73	適正化推進懇談会	再編検討委員会という学校の校長先生、関係校の校長先生も入られた組織を作っていますが、これが一番上部の組織だと思う。そこに各部会の部会長さんに入ってくださいようなかたちなのか分からないが、再編検討委員会が「はじめに」しか出てこないのはなぜか。	<p>再編検討委員会は、実施計画案を作るための組織という位置付けです。課題と対処方針に示したことを具体的に決めていく機関という位置付けはしていません。</p> <p>実施計画が行政計画として確定すると自動的に解散する予定ですが、個別課題を総合的に調整する機関については、別の組織で対応することを考えます。</p>		

大分類	小分類	No.	会場等の区別	意見・質問の概要	教育委員会の考え方
統合に当たっての課題	課題別検討組織	74	適正化推進懇談会	校名検討懇談会は大変重たい組織だと思う。理念から何かからきちんとしないと動いていけないだろうと思う。校名検討懇談会は校名だけではなく幅広いポジションにあってもいいんじゃないかという感じがする。教育長さんから皆さん入るような組織になっているので、おそらく一番上部の組織のような気がする。そこで示された理念を全部共通させていくという流れがあればうまくいくかもしれない。別途に組織を設けなくても。	個別の課題を検討する前に、どのような学校を創るのかという検討が必要だということはお指摘のとおりだと考えます。理念を検討し、個別の課題の検討組織を総括するための組織の設置を検討します。
		75	適正化推進懇談会	15ページにある校歌、校章、通学方法、制服、ジャージを決定するのに、ぜひ、その中学校に通う小学校のPTAを入れていただきたいという意見が出ている。	ご意見を踏まえ、校歌等検討部会と制服等検討部会の構成員に「当該学区の小学校の保護者」を追加します。
		76	適正化推進懇談会	統合校の生徒になる方たちを早い段階からかかわっていただいたほうが、色々な意味でうまくいくのだろうと思う。	ご意見を踏まえ、校歌等検討部会と制服等検討部会の構成員に「当該学区の小学校の保護者」を追加します。
		77	保護者等説明会 (青少年会館)	課題別の検討部会には、両校のPTA役員が構成員となる場合もあるようだが、早めに両校のPTAに知らせてもらいたい。	なるべく早くお伝えするようにします。
校名等		78	適正化推進懇談会	自分がPTA会長をしている小学校の保護者については、I章からIII章までのスケジュール、手法、使用施設に関して、結構周知されていると思う。今さらこれを蒸し返すというのは後戻りかなと思う。 保護者の興味はIV章の校名、校章、校歌などに移っている。	平成22年9月から平成23年6月までに地区協議会を8回開催し、その都度協議会ニュースを発行し保護者をはじめとする地域の皆さまへの周知を図ってきました。 また、実施計画(素案)に関する説明会も開催した結果、統合に関する計画についてご理解をいただいているものと考えています。 校名や校章、校歌についても多くの方のご意見をいただきながら検討、決定していきます。
		79	適正化推進懇談会	校名の決定スケジュールについて、2月上旬に募集周知をして同じ24年の3月の下旬には決定するというものになっているが、かなりタイトなスケジュールだと思う。これには何か理由があるのか。短い間で決めてしまった方がいいとか、後ろが決まっているとかあるのか。学校の名前というのはものすごく大きな問題になると思うが。 ずるずるとしても仕方ないと思うので、短い期間でするのはいいが、いかに周知ができるかに尽きると思う。	まず、校名案が決まらないと、その後の校歌や校章などの検討が進まないため、平成23年度中に校名案を決定することとしました。 なお、校名の正式決定には三浦市立学校設置条例の改正が必要です。
通学		80	パブリックコメント	・上原中学校に通う事になり、バス通学になったり、帰宅が遅くなる中学生が出ると思います。 ・意見は有るかと思いますが、全額で無くとも、通学定期を購入する場合、一定条件以上の通学する中学生には、補助金制度で支援してはどうか？ 「子供は国の宝」であり「三浦の宝」と思います。	統合することにより、これまで徒歩で通学していた生徒がバスで通学することになったり、これまでより通学に時間がかかったりするケースが発生することは承知しています。 通学費の補助については、文部科学省が遠距離通学の基準(中学校の場合6km)を示していることや市の財政状況を考慮すると、補助の実施は難しいと考えています。 現在、城ヶ島や通り矢から三崎口駅へ向かうバス路線は、三崎下町を通っていますが、市立病院前を通ることにより、通学距離や時間の短縮が図られることから、一部のダイヤについて路線変更ができないか京急バスとの交渉を始めています。
		81	保護者等説明会 (三崎中学校)	自転車通学も検討していくということだが、バス代の市の補助は一切ないのか。家計への負担が大きい。	他の自治体で通学費の補助をしている例はあります。その基準の1つとなっているのが文部科学省が示した通学距離であり、中学校の場合は6kmとなっています。この6kmを解消するためにも京急バスとバスの路線変更の交渉をしています。

大分類	小分類	No.	会場等の区別	意見・質問の概要	教育委員会の考え方
統合に当たっての課題	通学	82	保護者等説明会 (青少年会館)	三崎中学校に徒歩で通っている生徒が上原中学校に通うことになると、通学費用がかからなかったものがかかるようになる。保護者の負担軽減措置をぜひ図ってもらいたい。 三崎下町などは国の基準では遠距離通学にならないようだが、市の独自政策として統合のメリットを生かして保護者の負担を軽減してほしい。 町を活性化するためにも若い人に住んでもらいたい。通学費用の負担が増えることによって若い人が住まなくなる可能性がある。通学費補助は大変重要である。 統合することにより全体の教員数を減らせると思うので、このメリットを保護者に還元することを考えてほしい。	文部科学省が示している遠距離通学の基準は6kmとされています。城ヶ島の一部を除いてはこの基準内のため、市の独自政策として補助をするというのは難しい、と言わざるを得ません。 通学距離・時間の短縮を図るために京急バスとの調整を始めていますが、スクールバスについては、本数などの点であり利点がないと考えているため、城ヶ島～三崎口駅、通り矢～三崎口駅の路線について、市立病院前を通る路線に変更していただくように交渉しています。 今後、PTA（保護者・教職員）を含めた通学方法についての検討の中で、自転車通学の可能性についても検討していただきたいと考えています。 校長や教頭が1人ずつとなることなどで全体の教員数は減りますが、教員の人件費は県が負担しているため、人件費で市の負担が減るということはありません。 一方、学校の光熱水費などのランニングコストは削減できるので、その分を施設整備というかたちで還元することは可能だと考えています。
		83	保護者等説明会 (三崎中学校)	通学方法の関係で京急バスとの協議を始めているとのことだが、その中にはスクールバスの運行についても含まれているのか。 使用施設が上原中になることによって、これまで通学費のかからなかった地域で通学費の負担が発生する場合もあると思う。	通学については大きな課題であるという認識を持っています。 京急バスとの協議の中にはスクールバスの話も出ていますが、スクールバスを運行したとしても、無料ではなく路線バスと同じ運賃が必要になることや、本数も限定されることからそれほど利点がないと考えています。 城ヶ島～三崎口駅、通り矢～三崎口駅の路線は現在、三崎の下町を通っていますが、ダイヤの一部を市立病院前を通るように交渉しています。これが実現すれば通学距離・時間の短縮につながります。
		84	保護者等説明会 (三崎中学校)	通学には当然お金がかかるという認識を持っている保護者もいるが、現在の三崎中学校までの通学にかかる費用を示すことによって、多くの保護者からの声が出てくると思う。 そうすることによって、本当に必要なバスのルートや本数が明確になるのではないかと。 資料を学校を経由して配布することはできないのか。説明会の場に来ることのできない保護者もいる。確実に保護者に届くのは学校からのプリントだと思う。 保護者のニーズを把握してから京急バスと交渉したほうが効果的だと考える。	定期代の試算はしていますが、定期ではなくバスモやスイカを利用して通学している生徒もいると聞いていることから、定期代の比較だけではすべての方の通学について比較することにはならないと考えています。 定期代に関する資料は、平成24年1月中旬に皆さまから寄せられた意見の公表のタイミングに合わせて、学校を通じて家庭実数で配布します。
		85	保護者等説明会 (上原中学校)	回覧板等で情報は得ていた。今回の計画案ではさらに細かい部分でも進んでいると感じた。統合した際に子どもたちに夢を、というものがベースになって計画されているということが良く分かる。 現在の三崎中学校区の生徒が上原中学校まで通うことについて、バス便が1つの課題になってくると思う。また、バス停から学校までの経路など、交通安全面などを考えていく必要があると思う。	通学方法については、PTAも含めて検討していくことを考えています。自転車通学については、地区協議会において肯定的な意見もありましたが、安全面も含めて検討していく課題であると認識しています。 バス通学については、現在の三崎中学校区には切実な問題であり、バス事業者との交渉をすでに始めています。スクールバスの利点はあまりないと考えており、城ヶ島～三崎口駅、通り矢～三崎口駅の路線について、一部のダイヤを市立病院前を通る路線に変更できないかの調整を進めています。 交通安全対策については、特に学校と連携を図りながら進めています。
		86	保護者等説明会 (三崎中学校)	統合校の制服は平成26年度に一斉に変更するのか。統合までの間の制服はどのようにするのか。	統合するまでの間は、それぞれの学校の制服を着用します。統合時の制服については今後検討していくことになりませんが、すべての生徒が一度に新しい制服に替えるということではなく、経過期間を設けて対応していくことになると考えています。
		87	保護者等説明会 (青少年会館)	統合に当たっての課題については、実施計画に示されたスケジュールで進めていくということか。例えば制服について、制服等検討部会で検討していくということだが、本文に記載されている「旧制服も一定の期間は着用できるように配慮します」という部分は制服を検討していく際に生かされるという理解でよろしいか。 統合時に新しい制服を改めて購入しなければならないということになると、保護者の負担が大きい。3種類の制服が存在するという状況が学校運営上どうかという気持ちはあるが、着用する機会が限られている制服を改めて購入するのは厳しい。	統合時に制服を統一するのが理想かもしれませんが、保護者の負担を考慮した結果、「旧制服も一定の期間は着用できるように配慮します」という記述をしました。 三崎中学校、上原中学校それぞれの制服を持っているのに、新たに新中学校の制服を購入していただくということはありません。 旧制服の着用を認める期間をどの程度にするかは、今後検討していただく予定です。

大分類	小分類	No.	会場等の区別	意見・質問の概要	教育委員会の考え方
統合に当たっての課題	制服	88	保護者等説明会 (青少年会館)	今の小学校5年生は中学校2年生になる時に統合されるが、この学年の制服はどうなるのか。	三崎中学校、上原中学校それぞれに入学した際の制服を3年間着用することになると考えています。 現在の三崎中学校の制服、上原中学校の制服、新しい制服の3種類が混在する期間があることは仕方ないと考えていますが、これを良とするかは保護者や子どもたちの意見を踏まえて決めていくことだと考えています。
		89	保護者等説明会 (上原中学校)	平成24年11月に新しい制服が決まるというスケジュールになっているが、現在の小学校5年生は平成25年4月に中学校に入学する段階で新しい制服を着用することになるのか。	両校の制服の着用を認める一定の期間を設けるべきでないか、という意見をいただいています。新たな制服を制定した場合、3種類の制服が混在する期間もあると考えています。新しい制服の着用については、平成26年4月からになると考えています。
		90	保護者等説明会 (青少年会館)	制服を選ぶ際に子どもの意見を反映させることは考えているか。子どもたちが「あの制服を着たいな、あの学校に行きたいな」と思うような環境づくりをお願いしたい。	統合校の制服を決定する際に子どもたちの意見は重要だと考えています。保護者の意見と併せて聞いていきたいと考えています。 また、制服のサンプルを展示してみなさんの意見を聞くことも考えています。
		91	保護者等説明会 (青少年会館)	義務教育では制服がなければいけないのか。自由な服装にすることはできないのか。	制服を定めなければいけないということではありませんが、制服を定めている傾向が強くなっています。自由な服装だとかえって費用がかかるという場合もあるようです。
部活動		92	保護者等説明会 (三崎中学校)	部活の指導をする先生の数は確保できるのか。部活をする上では顧問は非常に大事な要素だと思うが、部活の数と顧問の数をうまく調整できるのか。	統合校の教員数は、現在の2校の教員の合計数よりは少なくなりますが、現在のそれぞれの学校の教員数よりは多くなると考えられます。生徒数も増加することから、部活動が活性化することが期待できます。
		93	保護者等説明会 (三崎中学校)	三崎中、上原中にある部活動が統合することによってなくなってしまうのは困る。2年間頑張った部活が3年時の統合でなくなってしまったら、その後の学校生活にも影響が出ると思う。もし、統合の際になくなる部活があるのであれば、中学校に入学する段階で示してほしい。 子どもにとったら部活は大切な要素であるし、3年生は受験を控えた時期でもあるので不安もあると思う。子どもの気持ちを考えた対応をしてもらいたい。	人事異動の関係もあり、現時点ではっきりしたことは言えませんが、統合の際に突然廃止する部活がないようにしたいと考えています。今後の2年間で検討していきます。
		94	保護者等説明会 (青少年会館)	部活動の人数が少なく、試合に出られない状況があるということを聞いている。部活の合同練習を1年前からと言わず、もっと前から1つのチームとして活動することは認められないのか。	統合することにより部活動の活性化は図られると考えています。合同チームで大会に参加するという事例もあるので、大会参加の条件等も調査し、合同練習等のスケジュールの前倒しも含めて検討します。
		95	保護者等説明会 (上原中学校)	部活について、統合するまでは別のチームでライバルであるが、統合すると同じチームでプレーすることになる。統合前に合同練習などの機会はあるのか。	両校に試合に参加できる部員数がある場合は、合同チームで大会に参加することはできませんが、部員数が足りない場合には合同チームでの参加ができるので、統合前でも大会に参加したり、練習試合や合同練習を実施したりということは考えています。
教育課程		96	教職員説明会 (三崎中学校)	統合前にそれぞれで生活してきた文化やカリキュラムなどを背負ってくるので、何時に学校に来て、朝の会をどういうようにして、何の係をして、班はどういう行動をして、というソフトの部分が教員にとっては非常に重要になってくる。 学校には非文カリキュラムというものがあって、この部分をどうすり合わせていくのか非常に気になっている。3月や4月、学期末が締めになっているスケジュールも厳しい。 授業の進め方やテスト問題の作り方も両校で違っている。両校の交流をもっと早くできるように機会を設けてほしい。 どういう学校にしようとか、どんな生徒を育てようという、ある程度のビジョンが先にあるべきだと思う。	教育課程の編成については両校の校長、教頭、教育課程担当の先生でなるべく早く動いていかなければいけないと考えています。 実施計画策定後のスケジュールを示していますが、ご意見を踏まえ、12月に両校での事前調整を開始しました。

大分類	小分類	No.	会場等の区別	意見・質問の概要	教育委員会の考え方
統合に当たっての課題	特別支援学級	97	保護者等説明会 (青少年会館)	現在、小学校で特別支援学級に通っているが、統合した中学校でも特別支援学級は設置されるのか。	他の自治体では、拠点校というかたちで一部の学校に特別支援学級を設置することもあります。三浦市においては必要に応じて各学校で特別支援学級を設置しています。三崎中学校と上原中学校を統合する際にも必要な特別支援学級を設置する予定です。
		98	保護者等説明会 (上原中学校)	現在の三崎中学校に特別支援学級があるとすれば、そこに通えなくなり上原中学校の特別支援学級に通うことになった時に、「困り感」を持った生徒に対して、施設面も含めて配慮したプランが必要になると思う。	三浦市における特別支援学級は、非常に手厚い措置をしていると自負しています。必要に応じて学校ごとに障害に合った学級を設置しています。場所が変わったことにより通学しにくくなる状況が生まれることもあるので、事前交流を図るなど、十分に配慮しながら進めていかなければいけないと考えています。三浦市では特別支援学級を設置している学校で連絡会を作り、「のびる子の集い」を開催し、子どもたちや保護者の交流を図っています。今後も丁寧な対応をしていきます。
	教員配置	99	保護者等説明会 (三崎中学校)	子どもたちの不安を解消するためにも、統合時にはそれぞれの学校の先生を配置するように配慮してほしい。	三崎中学校と上原中学校のすべての先生を統合校に配置することはできませんが、子どもたちの不安を解消するためにできる限りの配慮をしていきたいと考えています。
		100	保護者等説明会 (青少年会館)	平成25年度に三崎中学校が5学級となり、教科担任の数が足りなくなる可能性があるということだが、統合までの1年間は足りない状態になるということか。	教科担任の確保が難しくなる平成25年4月に統合することが望ましいという考えもあるかもしれませんが、準備の期間を考慮して平成26年4月に統合するという考えを示しました。教員数については、臨時職員など定数以外での配置を県に依頼し、暫定措置ではありますが、教科担任が不足するという状況が発生しないようにしていきます。
	学力の向上	101	教職員説明会 (上原中学校)	教科担任の確保が課題だということまで出ているのに、なぜ学力についてひと言も触れていないのか。子どもを持つ若い世代が三浦に来てくれるような教育政策が必要なのではないか。 教育課程の部分にも授業、学力の記載が一切ない。教員同士が相談して決める内容ではなくて、市の政策なり、教育委員会の方針なりをはっきり打ち出して、統合を機会に学力が向上するような施策を盛り込む必要があるのではないか。	学力の向上については地区協議会でも話題になり、子ども同士が切磋琢磨することによって学力の向上につながるというのは地区協議会での共通の認識でありました。子どもたちから意見を聞いた際にも競い合うことによって学力も向上するという意見もありました。新しい学校づくり、教育課程の編成の中で、目指す生徒像、目指す学校像を含めて学力の向上についても一緒に考えていかなければいけないと考えています。
意見聴取	パブリックコメント	102	保護者等説明会 (三崎中学校)	統合で一番の問題になるのが、三崎中と上原中がうまく交わるかということだと思う。吸収ではなく、統合ということだが、三崎中がなくなるのは事実であり、地域の方にも「三崎中がなくなってしまう」という感情があると思う。 パブリックコメントでは子どもたちの意見も聞けるのか。	子どもたちの意見は、パブリックコメントでもぜひお寄せいただきたいと考えています。意見の内容と対応については、1月中旬に公表する予定です。本日の説明会で出された意見についてもパブリックコメントと同様に扱うこととします。
	子どもの意見	103	保護者等説明会 (三崎中学校)	子どもたちの意見を集約することはできないのか。ぜひ、子どもたちの意見を三崎地区中学校再編検討委員会の委員に受け止めてもらいたい。	生徒会役員や児童の代表との意見交換を行いました。この内容については尊重していきたいと考えています。
		104	保護者等説明会 (上原中学校)	子どもの考え抜きで、大人だけの経済的な視点だけで判断しないでほしい。子どものことを第一に考えてほしい。	ご意見のとおりだと考えています。学校の教育環境をどう守っていくかということを主眼に置いて作った計画だということをご理解いただきたいと思います。
		105	保護者等説明会 (青少年会館)	統合という方向にならざるを得ないと思うが、子どもたちの思いや考えを把握しているのか。 聞いた内容を実施計画の本文なり、資料として示すことが必要ではないか。当事者の声を知ることにより周囲の理解も進むのではないか。	生徒会役員や児童の代表との意見交換を行いました。それぞれの代表は各学校で話し合いをしてから意見交換に臨んでいただきました。不安を解消するために交流行事が必要だという意見もあったことを、実施計画の中で課題別の検討スケジュールに反映させるなど、子どもたちの意見を踏まえた内容としています。

大分類	小分類	No.	会場等の区別	意見・質問の概要	教育委員会の考え方
意見聴取	学校での意見聴取	106	保護者等説明会 (三崎中学校)	今回の説明で統合については理解できたが、統合を進めるに当たって、PTAの声、生徒の声を学校は把握しているか。	統合の方針が正式決定するのが平成24年1月ということもあり、説明会開催時点(平成23年11月)では保護者がどのように考えているかを学校としては具体的に把握していませんでした。 生徒会役員の見意見交換を行うに当たって、意見を聞く場はありましたが、今後も必要に応じて子どもたちの意見を聞く場を設けていきます。
跡地	利用方法	107	パブリックコメント	<ul style="list-style-type: none"> 基本的には、避難所機能などのコミュニティの核として利用の基本的考えに賛成です。 近い将来、大きな地震が発生する確率が大きいと聞きます。避難者が体育館で避難する姿は、悲しく思います。 校舎を家族単位等で一時期、利用出来る様な施設、水の確保・診療施設の臨時開設、何日かの食べ物の確保等、三崎中学校跡地を災害時の拠点としてはと思います。(市役所にも近く情報の迅速も図れる) 普段はコミュニティの場として大いに利用しても良いと思います。 	東日本大震災の発生を機に、避難所など災害時の対応についての重要性がさらに強く意識されています。 今回お寄せいただいたご意見をはじめ、多くのご意見を参考にし、跡地利用の計画については、実施計画(素案)に記述したとおり平成26年4月の統合までにお示しすることとします。
		108	保護者等説明会 (青少年会館)	潮風スポーツ公園、総合体育館(潮風アリーナ)、旧三崎高校はスポーツをする場として利用できる。旧三崎高校はフィルムコミッションでの利用もあり、経済効果も出ていると聞いている。旧三崎高校は平成25年3月で解体するという案が出ているので、三崎中学校の跡地の活用方法によっては三崎下町の活性化にもつながると思う。	跡地については、地域経済に寄与できるような活用を今後検討していきます。併せて、避難所機能も残すべきであろうと記述していますが、これは将来的なものであり、具体的利用方法が決まるまでの暫定的な期間に、どのように利用していくかは色々な可能性があると考えています。
三崎中と上原中の統合以外の課題	小学校の適正化	109	保護者等説明会 (青少年会館)	三崎中学校と上原中学校の統合以外の課題についての記述があるが、平成22年7月の三浦市立小中学校適正配置推進計画では、中学校は単学級が発生した時に適正化措置を実施、小学校については地域性を配慮して現在の小学校を存続ということだったと思うが、三崎中学校と上原中学校の統合が終わった時にもう一度見直すということか。	小学校については、異なる学年で1つの学級を編成する「複式学級」が生じた時には、何らかの措置を講じなければいけないという考えが以前からあります。平成22年に策定した三浦市立小中学校適正配置推進計画では、地域のコミュニティの核として重要な役割があるということや、当分の間、複式学級が生じない推計があることなどから小学校の適正化については検討から外しました。 しかし、今後の検討を否定するものではなく、常に状況把握をするともに適正化の手法についても研究していかなければいけないと考えています。 三浦市立小中学校適正化推進懇談会は、教育環境を総合的に検討していくための組織として考えています。
		110	保護者等説明会 (上原中学校)	近い将来、小学校の適正化についても検討するのか。	平成22年に策定した三浦市立小中学校適正配置推進計画では、小学校の適正化については、小学校低学年にとっては通学距離が大きな問題となること、小学校単位でコミュニティが形成されていることなどを考慮し、すぐに実施することはしないという結論を出しました。 複数学年で1学級を編成しなければいけない状況になった時に検討することとしていますが、しばらくはこの状況は発生しないという推計をしています。 ただし、今後検討しないということではなく、状況を把握しながら検討すべき課題であると考えています。
	小中一貫教育	111	保護者等説明会 (青少年会館)	小中一貫教育について記述されているが、三崎下町から小学校がなくならないということを念頭に置きながら早めに情報提供をしてほしい。	小中一貫教育の導入には、小学校から中学校に進学した際に学習や生活の変化になじまない「中1ギャップ」の解消という側面もあります。校舎が別でも小中一貫教育の導入は可能なため、すぐに結論が出る問題ではないと思いますが懇談会で検討していきます。 また、この検討に伴い必要な情報は、市ホームページ等で早めに提供していきます。

大分類	小分類	No.	会場等の区別	意見・質問の概要	教育委員会の考え方
その他	地域の関わり	112	保護者等説明会 (上原中学校)	居住している地域では、2年前に愛のパトロールを実施しなくなってしまったが、統合して生徒数が多くなるということで、地域でパトロールを実施したほうがいいのではないかという意見が出ている。	地域の方に関心を持っていただくことは、非常にありがたいことだと考えています。地域でパトロール等の活動をしていただくことは、学校や保護者、子どもたちにとって心強いものとなると思いますので、ぜひ前向きなご検討をお願いします。
	掲載資料	113	保護者等説明会 (青少年会館)	実施計画には市内全体の児童・生徒数の推移や推計を掲載する必要があるのではないか。	長期にわたる推計をお示しすることは困難ですが、可能な限り、生徒数の推移や推計について実施計画に資料として掲載します。
	街づくり	114	保護者等説明会 (上原中学校)	人口の減少傾向が分かっていたのに、街づくりについては置き去りにされてきた。学校にも関係することではないか。	リーマンショック以前は市内においても開発の動きがあり、転入者の増加も見込まれていました。 しかし、現在は大規模な開発の予定もなく、生徒数が減少していく現状を見過ごすことはできないということをご理解ください。